

# 令和8年度一般会計当初予算（案）のあらまし

## 一般会計 予算総額

499億6,716万2千円 (対前年度▲38億8,902万6千円)

予算総額は499億6,716万2千円で、対前年度比38億8,902万6千円の減額となりました。これは、民間こども園整備に対する補助費等、障害者自立支援給付費、生活保護費の追加給付をはじめとした扶助費、後期高齢者医療特別会計や介護保険特別会計などへの繰入金などが増加する一方で、学校給食センター等複合施設整備や古市こども園整備などの普通建設事業費、GIGAスクール構想整備(タブレット更新費用)などの物件費が減少することによるものです。

## 経常的経費、臨時的経費、投資的経費別 予算額

区分	予算額
経常的経費	451億2,345万2千円 (+15億3,427万2千円)
臨時的経費	32億8,451万9千円 (▲2億5,050万2千円)
投資的経費	15億5,919万1千円 (▲51億7,279万6千円)

## 過去の当初予算額

年度	当初予算額	対前年度比
令和8年度	499億6,716万2千円	▲38億8,902万6千円
令和7年度	538億5,618万8千円	+91億7,271万7千円
令和6年度	446億8,347万1千円	▲1億3,366万4千円
令和5年度	448億1,713万5千円	+18億4,802万7千円
令和4年度	429億6,910万8千円	+13億7,039万9千円
令和3年度	415億9,870万9千円	▲26億6,273万6千円

## 一般会計 主な歳入予算

### 令和8年度当初予算(案) 主な歳入予算額 R7⇒R8

項目	予算額
市税	132.2億円 ⇒ 134.4億円 (+2.2億円)
株式等譲渡所得割交付金	3.2億円 ⇒ 4.4億円 (+1.2億円)
普通交付税	89.1億円 ⇒ 95.5億円 (+6.4億円)
地方特例交付金	1.1億円 ⇒ 3.6億円 (+2.5億円)
国庫・府支出金	161.9億円 ⇒ 166.1億円 (+4.2億円)
公共施設整備基金繰入金	7.6億円 ⇒ 1.5億円 (▲6.1億円)
市債	62.0億円 ⇒ 10.8億円 (▲51.2億円)

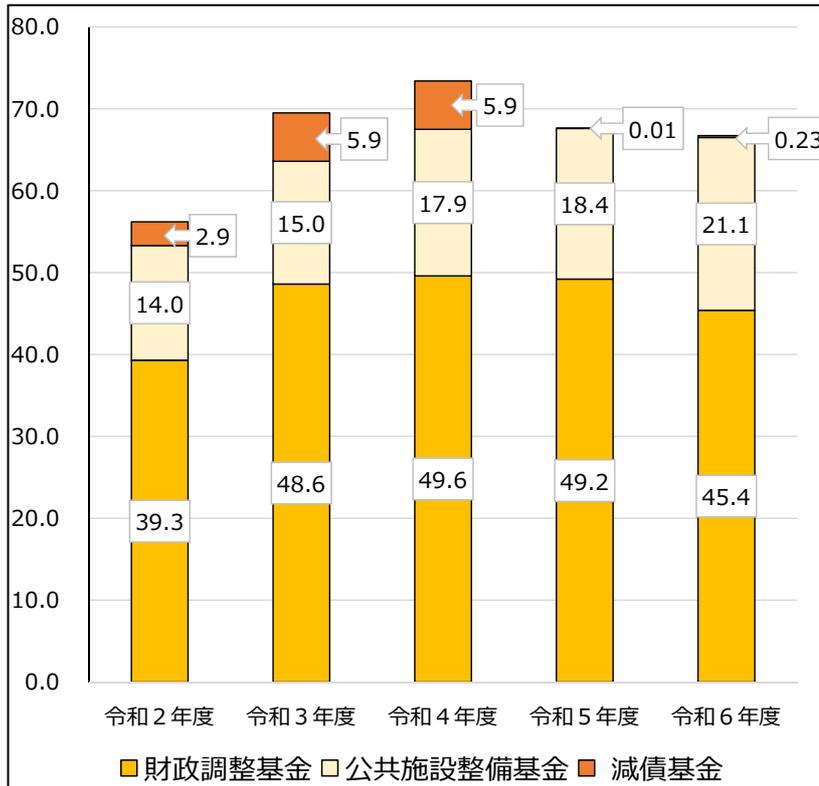
物価や金利の上昇が続く中、市税収入は賃上げの影響等による増収が見込まれるほか、地方財政対策により普通交付税や地方特例交付金は増加が見込まれ、また社会保障費の増加等により国庫支出金、府支出金も増加が見込まれます。一方で、給食センター等複合施設整備事業の完了などに伴う普通建設事業費の減少により市債が減少するとともに、財源調整としての公共施設整備基金の繰入金なども減少します。

## 過去の市税の推移

年度	市税予算額	対前年度比	年度	市税予算額	対前年度比
令和8年度	134.4億円	+2.2億円	令和5年度	126.4億円	+4.5億円
令和7年度	132.2億円	+6.3億円	令和4年度	121.9億円	+3.6億円
令和6年度	125.9億円	▲0.5億円	令和3年度	118.3億円	▲7.1億円

主な基金残高推移（決算ベース）

(単位：億円)



年度	財政調整基金	公共施設整備基金	減債基金
令和6年度末	45.4億円	21.1億円	0.23億円
令和5年度末	49.2億円	18.4億円	0.01億円
令和4年度末	49.6億円	17.9億円	5.9億円
令和3年度末	48.6億円	15.0億円	5.9億円
令和2年度末	39.3億円	14.0億円	2.9億円

行財政改革の推進について

令和8年度当初予算における主な取組み項目の効果額

区分	取組み項目	効果額（R7当初⇒R8当初）
効果額 増収 (+71万円)	ネーミングライツ事業	154万円 ⇒ 225万円 (+71万円)
効果額 増収 (+78万円)	公共施設の有効利用（道の駅 土地貸付収入）	1,143万円 ⇒ 1,221万円 (+78万円)

第7次総合基本計画施策目標別 主な事業予算

※特別会計及び事業会計を含む

① 暮らしを支える基盤の整備【都市整備・産業】

区分	主な事業	予算額（R7当初⇒R8当初）
ソフト	古市排水機場施設更新事業	0万円 ⇒ 1,000万円 (+1,000万円)
	羽曳野市特産品果樹苗木購入補助金	0万円 ⇒ 100万円 (+100万円)
	農業振興地域整備計画	450万円 ⇒ 463万円 (+13万円)
ハード	一般府道郡戸大堀線歩道整備事業	234万円 ⇒ 234万円 (±0万円)
	恵我ノ荘駅前南側広場整備事業 «土地取得特別会計含む»	5,692万円 ⇒ 5億2,835万円 (+4億7,143万円)

ハード	羽曳が丘西65号線（八尾富田林線関連道路）整備	1億247万円 ⇒ 3,688万円（▲6,559万円）
	市道藤井寺羽曳山線	6,300万円 ⇒ 3,000万円（▲3,300万円）
	新大黒橋長寿命化事業	1億8,484万円 ⇒ 2億2,842万円 （+4,358万円）
	無電柱化推進事業	1,797万円 ⇒ 4,329万円（+2,532万円）
	（仮称）丹下ちびっこ広場整備	9,136万円 ⇒ 7,379万円（▲1,757万円）
	ポンプ場施設耐震・老朽化対策 （碓井ポンプ場中央監視制御設備更新ほか） «下水道事業会計»	1億9,204万円 ⇒ 3億9,500万円 （+2億296万円）

## ② 安全で安らぎのある生活の実現【危機管理・生活環境】

区分	主な事業	予算額（R7当初⇒R8当初）
ソフト	自主防災組織活動補助金、地域防災講演会 および職員の災害対応力向上研修	350万円 ⇒ 351万円（+1万円）
	ハザードマップの作成	0万円 ⇒ 1,075万円（+1,075万円）
	小型家電製品の回収体制の構築	0万円 ⇒ 45万円（+45万円）
ハード	避難所における備品等の備蓄	1,136万円 ⇒ 1,136万円（±0万円）
	恵我之荘コミュニティセンターの設置	1,494万円 ⇒ 1,528万円（+34万円）

## ③ 支えあい助け合う社会の実現【健康・福祉】

区分	主な事業	予算額（R7当初⇒R8当初）
ソフト	生活保護事務に係る法令等検索システムの導入	0万円 ⇒ 277万円（+277万円）
	胃内視鏡検診の実施	0万円 ⇒ 530万円（+530万円）
	第10期高年者いきいき計画の策定	517万円 ⇒ 410万円（▲107万円）
	通所型サービスC事業の拡充	2,387万円 ⇒ 2,496万円（+109万円）
	介護保険サービス事業者に対する指導監督体制の強化 «介護保険特別会計»	0万円 ⇒ 403万円（+403万円）
	第5期障害者計画・第8期障害福祉計画・第4期障害児 福祉計画の策定	0万円 ⇒ 891万円（+891万円）

#### ④ 羽曳野の宝を守り育む【子育て・教育・歴史・文化】

区分	主な事業	予算額（R7当初⇒R8当初）
ソフト	乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）	0万円 ⇒ 3,793万円（+3,793万円）
	物価高騰に伴う保育園・こども園給食費支援	3,534万円 ⇒ 4,921万円（+1,387万円）
	養育費履行確保支援事業	80万円 ⇒ 100万円（+20万円）
	小学校での巡回方式によるスクリーニング・アセスメントの実施	0万円 ⇒ 144万円（+144万円）
	学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の拡充	8万円 ⇒ 17万円（+9万円）
	公立諸学校の規模や配置の適正化に向けた計画の策定	0万円 ⇒ 1,010万円（+1,010万円）
	学習アプリと連動した総合学力調査の実施	0万円 ⇒ 66万円（+66万円）
	学校給食費にかかる保護者負担分の公費支援	6,187万円 ⇒ 2億7,842万円 （+2億1,655万円）
	史跡通法寺跡整備基本計画策定業務	994万円 ⇒ 609万円（▲385万円）
	峰塚公園管理棟（時とみどりの交流館）の歴史資料館へのリニューアル	0万円 ⇒ 4,405万円（+4,405万円）

ハード	古市こども園整備事業（下開保育園解体等）	7億9,929万円 ⇒ 1億5,258万円 （▲6億4,671万円）
	（仮称）第4こども園（民設民営による公私連携幼保連携型認定こども園）整備事業	2,842万円 ⇒ 1億6,179万円 （+1億3,337万円）
	幼保連携型認定こども園（恵我之荘幼稚園跡地）整備補助事業	1億7,827万円 ⇒ 3億6,025万円 （+1億8,198万円）
	教育研究所の西浦幼稚園跡地への移転	0万円 ⇒ 1,080万円（+1,080万円）
	史跡安閑天皇陵古墳周堤公有化	0万円 ⇒ 1億1,629万円 （+1億1,629万円）

## ① 持続可能なまちづくりへの推進力 [都市経営]

区分	主な事業	予算額 (R7当初⇒R8当初)
ソフト	窓口サービスのDX推進 (窓口支援システム導入)	0万円 ⇒ 3,705万円 (+3,705万円)
	建築確認申請の電子化	75万円 ⇒ 119万円 (+44万円)
	情報セキュリティ外部監査	0万円 ⇒ 417万円 (+417万円)
	ふるさと納税事務	1億68万円 ⇒ 1億1,068万円 (+1,000万円)
ハード	高速カラープリンターの導入	0万円 ⇒ 1,726万円 (+1,726万円)
	旧浅野家住宅整備事業 (第2期)	9,524万円 ⇒ 4,424万円 (▲5,100万円)